

『大隅フットサル大会を開催』

4月23日(日), 第7回大隅フットサル大会(5人制サッカー)が大崎町総合体育館で開催され, 大隅半島ほか, 鹿児島市, 霧島市, 都城市などから全20チーム, 約200人が参加しました。

主催の大隅フットサル連盟は, ビーチスポーツやフットサル競技などの新しいスポーツ普及, また, 大崎町での体育施設利用推進を目的としている団体であり, おおすみ大崎サッカー協会や大崎町役場も開催準備などのお手伝いをしました。今後も審判認定講習会や青少年スポーツ大会の開催が企画されています。

大会結果 優勝 フットルー(鹿屋市・自衛隊)
準優勝 ウイニングドック(鹿児島市)
3位 ショッカー(鹿屋市)



▲大崎町総合体育館で開かれた, 大隅フットサル大会には全20チーム, 約200人が参加。



▲ヒラメの稚魚を志布志湾に放流する中沖小学校5年生の児童たち

『志布志湾で大きくなってね!』 中沖小学生がヒラメの稚魚を放流

5月17日(水), 柏原海岸で中沖小学校5年生の児童10人がヒラメの稚魚を放流しました。

これは, 町と東串良漁協が『つくり・育てる』漁業の推進を目的に, 毎年行っているもので, 今回は, 柏原小学校(東串良町)の4年生28人も一緒に参加し, 約7,000尾のヒラメの稚魚を放流しました。

ヒラメは, 体長が25センチメートルにならないと, 捕獲することができず, この大きさになるまでには約1年かかるそうです。

『製茶品質の向上をめざして!』 茶品質向上共進会が開催されました

平成18年度曾於地区茶品質向上共進会が, 5月22日(月), 野方農村環境改善センターで開催されました。

この共進会は, 良質茶の生産拡大と銘柄の確立を目的に, 毎年, 開かれているもので, 今年度は曾於地区内各市町茶業振興会の会員が製造した一番茶74点(大崎町内からは11点)が出品されました。

県農業開発総合センターや県経済連の専門技術員らによって, 外観, 香り, 水色, 味の合計200点で審査され, 大崎町は団体の部で1位, 個人の部では1位から8位を占めるという優秀な成績を収めました。



▲茶葉の香りを念入りに審査する専門技術員ら

『使ったあとはきれいに!』 南九州大崎ロータリークラブがクリーン作戦を実施

6月1日(木), 南九州ロータリークラブ(安藤輝美会長)が, 社会奉仕活動の一環で, ふれあいの里公園内のイベント広場休憩所の清掃活動を実施しました。

この日は17名の会員が参加し, くもの巣の除去や棒たわしなどでタイルにこびりついたコケや汚れをきれいに洗い流しました。

会長の安藤さんは「ここは, 休憩所としているんな人が利用します。『使ったあとはきれいに!』をみなさん心がけてほしいと思います。」と話されました。

